

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称: 所沢市立プロペラ	種別: 生活介護事業
代表者氏名: 倉部 陽司	定員(利用人数): 40 (44) 名
〒 359-0012 所在地: 所沢市坂之下673-1	TEL 04-2945-7777

③総評

◇特に評価の高い点

(1) 【利用者とのコミュニケーション】

個々の利用者のコミュニケーション能力に応じた手段と方法(会話スピードへの配慮やジェスチャー・イラスト・写真等を用いた説明等)により適切なコミュニケーションが図れるよう対応しています。どの利用者もしっかりコミュニケーションをとる事で、意思表示や伝達が困難な利用者はいないとの信念で支援を行っています。

(2) 【地域への貢献活動】

CSWや民生委員・児童委員協議会と連携する事で地域課題を共有し地域の福祉ニーズの把握に努め、課題解決に向け事業計画にも織り込んで連携協力を図っています。地域で活動するボランティア団体等に事業所で収穫した野菜や賞味期限が近づいた災害備蓄食品を提供しフードパントリー活動等に役立てて貰ったり、自主生産品の販売を年1回西武デパートや市民フェスティバルで行い、地域の人々と利用者との交流の機会を定期的に設けています。出前講座や相談事業を通し地域に貢献する取組を行っています。又、災害時には福祉避難所になっており備蓄も増やして備えています。

(3) 【中・長期計画の展開】

法人により、第4次発展強化計画(中期3年)及び第5次地域福祉活動計画in所沢(長期10年)が策定されており、理念や基本方針の実現に向けた目標を明確にしています。これらの計画に於いて抽出された課題に付き、各施設は重点テーマとして年度の事業計画に盛り込みPDCAの具体的な展開を行っており、年2回その進捗は評価シートとして施設より報告され、経営会議にて全体がまとめられ評価・見直しが行われます。

(3) 【満足度の向上について】

満足度調査の集計・分析結果よりPDCAの展開が図られています。管理者は支援共有会議等に於いて改善の為の具体的な取組を明示し、職員の改善提案も取り入れられた改善計画をまとめ、具体的な取組みを行っています。職員に対する質の向上に関する教育・研修は、個々に必要な研修の受講を指示し、又、内部研修に関しては、虐待防止・感染症対策等、繰り返し研修を実施し質の維持向上を図っています。

◇特にコメントを要する点

(1) 【プライバシー保護とは】

利用者のプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程(ハラスメント防止規程等)やプライバシー保護マニュアル等が整備され、利用者一人ひとりに関する配慮事項を職員間で共有し支援に繋げていますが、利用者や家族に対してプライバシーの定義やそれに配慮して支援を行っていること等を理解して貰うのも必要なのではと感じます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

- ・評価の高い点である「利用者とのコミュニケーション」や「地域への貢献活動」については、継続して職員一人ひとりが意識して取り組めるよう情報共有を図りながら組織的に進めていきます。
- ・福祉サービスの質の向上を図るため、計画的な研修を実施するとともに利用者満足度調査や利用者・家族面談などを通じて、意向や課題を明確にして具体的な解決に向けて取り組みます。
- ・利用者のプライバシー保護を含め、活動や取り組みなどをわかりやすく、本人や家族へ情報提供を行っています。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙